

平成 26 年度 日本カブトガニを守る会福岡支部総会議事録

2015(H27)年 4月 26 日
於：九州大学・西新プラザ

出席者：小池、清野、若宮、林(修)、高橋、早川、杉本、嶋崎、久保園、西田 (敬称略)

1. 平成 26 年度事業報告

【支部】

- ① 守る会総会の開催 (当番支部・福岡地区担当)

平成 26 年 8 月 23 日・24 日 於：九州大学・西新プラザ

【参加者数】

総会・研究会：34 名

懇親会：30 名

公開講座：56 名

*2 名の招待講演者による講演、久保園さんら学生グループによる発表、
パネルディスカッションを実施

【会計報告】別紙参照：事務局より会計報告がなされ、承認された。

- ② 協議体：「福岡のカブトガニ保護の歴史を未来につなぐ会」の設立

福岡県のサポート事業として本支部、すみよい今津をつくる会、九大・工学研究院の 3
者による協議体を設立した。今津干潟のカブトガニ・環境保全の歴史を若い世代へとつ
なぎ、さらなる活動を実施することを目的とする。また県による助成金などの申請母体
として活用できる見込み。

- ③ 平成 26 年 11 月 8 日 福岡県 R D B 発刊記念イベント・希少種の保護活動に関する事例
報告・パネルディスカッション；林 (修)、(清野、高橋、早川他 参加)

- ④ 平成 27 年 1 月 31 日 カブトガニ国際シンポジウム (九大工学研究院・生態工学研(清野
研)主催、支援：九州大学基金、ふくおか地域貢献活動サポート. 於；九州大学西新プラ
ザ)への協力・参加

【北九州地区】

- ① 産卵調査

調査期間； 平成 26 年 6 月 1 日 ~ 8 月 17 日 延べ 36 日

調査回数； 52 回 (昼間 26 回、夜間 26 回)

調査者； 青木、萱野、佐本、高橋、早川、林

調査結果； 延べ 1580 つがいを確認

* 2005 年につぐ、つがい数を記録。一方で生息地・産卵場およびその周辺における開発は大
きく懸念され、多くの産卵場について安心できる状況ではない。また後述の通り、幼生数は
大きく減少しており、さらに幼生生息地の環境は悪化している。

② 幼生調査

調査期間； 平成 26 年 4 月 27 日 ～ 11 月 23 日 延べ 15 日
調査日； 4 月 27 日, 29 日 5 月 3 日, 4 日, 17 日, 31 日
6 月 28 日 7 月 26 日
8 月 16 日 9 月 7 日, 13 日, 14 日, 21 日
10 月 26 日 11 月 23 日

調査者； 林

* 幼生数は減少している。特に 9 月の調査で発見述べ個体数が 100 個体を下回り、これはこれまでの調査で初めてである。また例年 4 歳まで成長する個体が多いのだが、3 歳で止まっている？ ようにみえる個体が増えている。幼生は歩くと少し埋まる程度の場所に多いが、そのような生息適所が減少し、全体に砂が固くなっているようである。

③ 観察会

- 7 月 13 日 支部主催 産卵観察会 (朽網川河口)
参加者 (24名) 会員 (青木, 萱野, 高橋, 早川, 林)

- 7 月 14 日 北九州市立南小倉小学校特別支援学級 校外学習
「曾根干潟のカブトガニ見学」 (貫川河口とカブトガニ自慢館)
引率・案内；高橋

- 7 月 27 日 北九州市環境局主催 エコツアー「カブトガニ産卵観察会」
(吉田 磯崎海岸) 講師；(萱野, 早川, 林, 福田)

- 7 月 27 日 いのちの旅博物館主催
ジオ・ツアー「生きた化石と平尾台の謎を解く旅」
(朽網川河口) 案内・協力；高橋

- 7 月 28 日 森のこども園「曾根干潟とカブトガニの観察会」
(朽網川河口) 案内・協力；高橋

- 7 月 29 日 東朽網市民センター主催 「ハチガメ産卵観察会・海辺の清掃」
(里っ子クラブ・水と緑の美化プロジェクト (株) TOTO 協賛)
(朽網川河口) 参加者 108 名 講師；高橋, 早川

- 9 月 21 日 九州大学清野研学生さん曾根干潟視察の案内
案内；高橋, 早川, 林

④ 海岸清掃

- 5 月 24 日 14 時～16 時
東朽網校区まちづくり協議会主催
水と緑の美化プロジェクト (株) TOTO 協賛
朽網川河口域の清掃活動 協力・参加
・砂浜への漂着海藻類、ごみ等の回収、撤去作業
・参加者；129名 ごみ袋 140 袋

- ・会員（青木、萱野、小島、清水、高橋、手島、早川、安永、林）
- *地域のイベントとして定着してきたが、一連の TOTO による協賛プログラムが終了するため、新たなプログラムの開始が必要。
- 年間を通して、会員 1～数名で、朽網川河口砂浜のごみ等の撤去作業を実施。
*行政が回収してくれない自然ゴミ（筏ゴミ含む）の処分方法が課題となっている。

⑤ その他

- 7月 5日 14:00～16:00
曾根干潟カブトガニ自慢館運営協議会 総会
(本会が相談役) 出席者； 高橋
- 8月 23日～24日
日本カブトガニを守る会総会・研究会（福岡大会）
カブトガニ公開講座
(福岡支部福岡地区担当；於；福岡市 九州大学西新プラザ)
の 運営サポート、挨拶、懇親会の司会等
- 10月 11日～12日
「北九州エコライフステージ 2014」（環境イベント）
参加、出展 「北九州の宝 ハチガメの海を未来に」
ブースへの見学者 約 150名
参加者； 高橋、早川、林
- 11月 8日 福岡県RDB発刊記念イベント
希少種の保護活動に関する事例報告・パネルディスカッション；林
(清野、高橋、早川他 参加)
- 11月 22日 ビオトープ管理士講習会 で
地元における水辺の活動事例報告（報告；林 参加；高橋）
- 1月 31日 カブトガニ国際シンポジウム 於；九州大学西新プラザ に参加
- 3月 26日 15:00～17:00
第3回 曽根干潟保全連絡会 出席者； 高橋
- 4月～12月 随時（できる時に、できる人が、できる事を）
曾根干潟カブトガニ自慢館での 解説ボランティア

※ 曽根漁港連絡橋梁工事に関して

- ・10/14 市産業経済局農林水産部水産課より、工事内容の説明を受ける。
- ・11/3 工事現況と説明が違う点及び、工事用仮設道路の工事のため、
カブトガニの産卵場所とハクセンシオマネキの生息場所がグリ石で埋められつつあることについて、メールで担当者に質問。
- ・11/7 担当係長より返信
工事工程の説明の仕方が悪くうまく伝えられていなかった。

完全に埋めてしまう前に、少しでも移動はできないかと思うが何か良い方法があればアドバイスを…との内容。

- 11/8 関連工事に関して事前の調査や仮設道路によるアセス等がなされていないことに対する意見。緊急的な措置による保全方法に関しては、専門家なりのアドバイスを得るなりして、何らかの措置をしてほしい旨をメールで申し入れ。
- 2/16 仮設道路に設置されるはずの潮通しをよくするためのコルゲート管が埋設されていないことに対する質問と、仮設道路敷設でなくなった貫川河口左岸のカブトガニ産卵場に代わる、仮産卵場を設置する考えは現時点であるかとの質問、あわせて、工事関係者とのトラブルを避けるために、調査に伴う工事現場への立ち入り許可を事前に工事関係者へ連絡のお願いをメールで申し入れ。(回答なし)

※ 1月 31日

「1995年～2013年 曽根干潟カブトガニ産卵調査の記録」林 修 顧問 発行

【福岡・加布里地区】

- ① 守る会総会の開催（福岡地区担当） 上述
- ② 海岸清掃事業として FBS の 24 時間テレビ「日本をきれいにするプロジェクト」in 福岡：博多湾をきれいにするプロジェクト 2014 を共催し、5 月 25 日に今津カブトガニ産卵地、長浜海岸等の清掃を実施した。本事業は昨年に続き 4 回目。(会員参加)
- ③ 上述の福岡県からのサポート事業は、「協議体」を立ち上げ、今津と加布里、九大若手（久保園さんら）と県内の各地との交流ができた。今津村と糸島（志摩、二丈など）は、一体化した地域で人のつながりもわかってきてている。
- ④ 今津における福岡市環境部の事業へ九大・工学部・清野研として協力しており、間接的ではあるが本支部の活動の一環となっている。
- ⑤ 福岡市主催のいきものプロジェクトシリーズへの参加：第 2 弹 カブトガニの卵塊幼生調査会＆学習会（9/10）、第 3 弹 カブトガニ幼生放流会（10/29）。九州大学自然環境研究会・今津干潟調査（2/22）への参加

2. 平成 27 年度事業計画

【北九州地区】

① 産卵調査

6 月～8 月の大潮から中潮にかけての満潮時間に、
曾根干潟の産卵場所にて実施予定

② 幼生調査

平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月
季節に合わせて、天候、潮位を検討しながら、

適していると思われる日に実施予定

③ 観察会

- ・ 支部主催の産卵観察会を7月中に1回実施予定。
- ・ 行政やその他の団体からの依頼があれば、その都度検討する。
 - 7月18日（土）いのちの旅博物館 ジオ・ツアーア
 - 8月3日（月）東朽網校区里っ子クラブ「ハチガメ産卵観察会」
 - 7月 環境局主催エコツアーア 等

④ 海岸清掃

- ・ 5月下旬頃に、海藻類やごみ等の海岸への漂着状況を見て実施予定。
※ 5月30日（土）14時～ 東朽網校区まちづくり協議会主催 TOTO共催
「水と緑の美化プロジェクト」朽網川河口域の清掃活動
- ・ 年間を通して、少人数でのごみ等の回収を実施する。

⑤ その他

- 行政や他の団体から、イベント等の参加、協力要請があれば、その都度検討する。
 - ・ 北九州エコライフステージ 2015（10月）他
- 曽根干潟カブトガニ自慢館での解説ボランティア … 4月～12月の土日・祝日
(随時 ; できる時に、できる人が、できる事を)

【福岡地区】【加布里地区】

- ① 県サポートによる協議体一構成団体（上述）としての活動の強化
- ② 福岡市環境部事業への協力
- ③ 24時間テレビ「日本をきれいにするプロジェクト」in福岡：博多湾をきれいにするプロジェクト2015の共催（5月17日予定）。
- ④ 福岡市の今津干潟懇話会には小池先生、清野先生、杉本先生も委員として参画されており、随時情報を会へも伝達頂く予定。

【その他】

- ・ 福岡県レッドデータブック2014（福岡県の希少野生生物）において、カブトガニが絶滅危惧IA類として記載された。（会員による継続的な調査データが根拠資料としてもちいられ、これまでの活動の大きな成果の一つといえます。）
- ・ 糸島（加布里地区）での活動の継承が急務になっている。
- ・ 曽根沖の空港拡張埋立、苅田の干潟埋立なども懸念される。
- ・ 今津：3年後に今津橋の掛け替えが予定されており、注視。
- ・ 調査の継続、オリジナルの調査データの重要性などについて議論がなされた。
- ・ 第3回カブトガニ国際ワークショップ：カブトガニの科学と保護が2015年6月15日～19日の日程で長崎県佐世保市・西海国立公園九十九島・九十九島ベイサイドホテル&リゾート フラッグスにて開催されます。支部会員からも小池先生、清野先生、西田が研究発表を予定。会員を含む学生セッションも予定されています。

<http://www.pearlsea.jp/iwscahc2015/>